

令和7年2月14日 令和6年度第4回奈良県都市教育長協議会 大石教育長挨拶

第4回奈良県都市教育長協議会の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

平素、各教育委員会におかれましては、県教育委員会の諸事業に御理解、御協力をいただき、心より御礼申し上げます。

先週末から私立高校の入試が始まり、来週には公立高校の特色選抜も始まります。通勤電車には、お守りやぬいぐるみをたくさん付けたリュックを背負い、緊張した面持ちの中学生在が大勢乗っていました。落ち着いて力を発揮してほしいと心の中で願ったところですが、また、早朝から最寄り駅やターミナル駅で生徒の確認等を行っておられる先生方の姿も拝見しました。自分の高校受検の時には、そういうことはあったでしょうか。道が凍てつくような寒い朝、玄関先まで見送ってくれた母親が、「スベるよ」と言ったこと、デリカシーのない人だなと思ったことは記憶していますが、中学校の先生が駅におられたかどうかは覚えていません。もちろん生徒の指導、公務と位置付けて勤務の割り振り等をしていただいていると思いますが、だからよいということではなく、本当にありがたいことだと思います。自分の頃に比べると時代も変わり、何かに付け、子どもに手厚くなっているように感じます。手厚くなった分、先生方のお仕事は増えているのかもしれない。教員の働き方改革は、社会的合意、保護者の方々の御理解なしには進みにくいと、改めて感じた次第です。教職調整額の段階的引き上げを行うに当たり、教師の平均時間外在校等時間を令和11年度までに3割縮減することを目標とする合意が、財務大臣と文科大臣との間でなされており、教員の働き方改革の更なる加速が求められることとなります。県としましても、今年度から「教師にゆとりを！こどもに笑顔を！プロジェクト」に取り組んでおり、引き続き先生方の負担軽減を図るため、次年度に向けて必要な予算の確保に努めているところでありますが、各市でも実質的な働き方改革への御協力をお願いします。

昨年10月に各教育委員会に御協力いただいた「令和6年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」の結果概要が、12月に文部科学省から公表されました。本調査は、令和6年8月の中央教育審議会答申を踏まえ、教師の在校等時間の状況や「学校・教師が担う業務に係る3分類」の取組状況を含む、教育委員会における学校の働き方改革の進捗状況等の現状把握のために実施されたもので、現在、Web ページ上で全国と本県及び各市町村教委の取組が閲覧できる状態にあります。

奈良県の結果概要は、「学校・教師が担う業務に係る3分類」については、全体的として順調に取組が進んでいるということでした。しかし、「学校における働き方改革の実効性の向上等」に係る質問項目に関しては、全国平均に比べて低い結果となりました。所管する学校における教師の在校等時間の縮減に向けた取組の公表、業務改善の取組の促進にかかる定量的なフォローアップ、業務改善のPDCA サイクルの構築等を進めていただきますようお願いいたします。

私は今年度中に県立学校全校を回ろうとしているのですが、高校をようやく回り終わり、今日現在、あと数校、特別支援学校を残しているところです。やはり、実際に見ると様々なことが分かります。次年度は指導主事にも小・中学校にお邪魔して勉強し、学校と各教委事務局の御協力もいただきながら、奈良県の学校の授業力向上に、より積極的に取り組むよう指示しています。また現在、人事異動の時期であり、各市教委には事務でもお世話をおかけしていますが、全県的な見地から、特段の御理解、御協力をお願いします。

3月には、第3期奈良県教育振興大綱を定め、新たな奈良県教育の方向性を示します。今後も学校、各市教育委員会、県教育委員会が一丸となって取組を更に進めるため、ぜひ御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本会の益々の御発展と皆様方の御健勝を祈念し、御挨拶とさせていただきます。1年間、ありがとうございました。